

第二級海上特殊無線技士試験問題

無線工学

[19] B 級増幅と比べたときの A 級増幅の特徴の組合せで、正しいのは次のうちどれか。

- | | ひずみ | 効率 |
|----|-----|----|
| 1. | 多い | 良い |
| 2. | 多い | 悪い |
| 3. | 少ない | 良い |
| 4. | 少ない | 悪い |

[20] 次の記述の 内に入れるべき字句の組合せで、正しいのはどれか。

無線電話装置において、受信電波の中から音声信号を取り出すことを A という。FM (F3E) 電波の場合、この役目をするのは B である。

- | A | B |
|-------|--------|
| 1. 復調 | 2 乗検波器 |
| 2. 復調 | 周波数弁別器 |
| 3. 変調 | 2 乗検波器 |
| 4. 変調 | 周波数弁別器 |

[21] 次の記述は、船舶自動識別装置 (AIS) の概要について述べたものである。 内に入れるべき字句の正しい組合せを下の番号から選べ。

AIS を搭載した船舶は、識別信号 (船名)、位置、針路、船速などの情報を A 帯の電波を使って自動的に送信する。また、AIS により受信される他の船舶の位置情報は、自船からの B として AIS の表示器に表示することができる。

- | A | B |
|--------------|----------|
| 1. 短波 (HF) | 方位、距離 |
| 2. 短波 (HF) | 12 個の輝点列 |
| 3. 超短波 (VHF) | 12 個の輝点列 |
| 4. 超短波 (VHF) | 方位、距離 |

[22] 次の記述は、GPS (Global Positioning System) 等について述べたものである。誤っているのは次のうちどれか。

1. GPS では、地上からの高度が約 20,000 [km] の異なる 6 つの軌道上に衛星が配置されている。
2. 測位に使用している周波数は、極超短波 (UHF) 帯である。
3. 各衛星は、一周約 24 時間で周回している。
4. ディファレンシャル GPS という方式を用いることにより、GPS 測位精度を上げることができる。

[23] 次の記述の 内に入れるべき字句の組合せで、正しいのはどれか。

レーダーの映像は、画面の中心付近では A に現れるが、端の方になるにしたがって、 B に映るようになる。これは電波の C の広がりによるためである。

- | A | B | C |
|-------|----|------|
| 1. 線状 | 点状 | ビーム |
| 2. 点状 | 線状 | パルス幅 |
| 3. 点状 | 線状 | ビーム |
| 4. 線状 | 点状 | パルス幅 |

[24] 無線送受信機の制御器 (コントロールパネル) は、一般にどのような目的で使用されるか。

1. 送受信機を離れたところから操作するため。
2. スピーカから出る雑音のみを消すため。
3. 電源電圧の変動を避けるため。
4. 送信と受信の切替えのみを容易に行うため。